

第14回 日野川水害タイムライン検討会

令和8年6月17日（水）

国土交通省 日野川河川事務所（10:00～12:00）

開催概要

- ・防災気象情報の改善について、鳥取地方気象台から情報提供
- ・防災気象情報の改善に伴う日野川水害タイムラインの更新箇所を共有
- ・令和8年度版日野川水害タイムライン（案）について、各機関が読み合せを通じて確認し、自機関の行動項目に齟齬がないかを確認
- ・読み合せ訓練後、不明点や疑問点について、意見交換を実施

令和8年度の出水対応に向けて、タイムラインの概要や防災対応の全体像の確認を目的とした第14回検討会を開催しました。

◆参加機関（19機関）

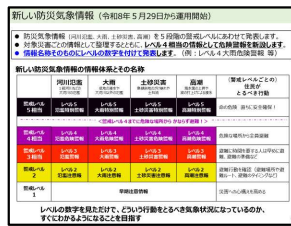
米子市（防災安全課、道路整備課、長寿社会課、上下水道局）、鳥取県（河川課、県民福祉局、米子県土整備局、米子警察署）、陸上自衛隊第8連隊、鳥取地方気象台、なんぶ幸朋苑、日ノ丸自動車(株)、中国電力ネットワーク(株)、(株)米子ガス、NTT西日本(株)、(株)山陰放送、(株)中海テレビ放送、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所

◆鳥取地方気象台からの情報提供

- ・令和8年出水期の見通しと防災気象情報の改善に関して共有
- ・詳細については**配布資料1のp.6～17**をご確認ください。



<説明の様子>



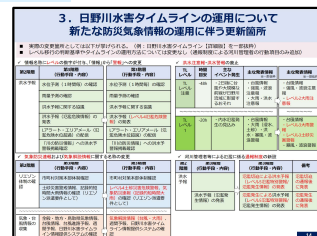
<鳥取地方気象台からの情報提供資料>

◆日野川水害タイムラインの更新箇所

- ・日野川水害タイムラインでは主に以下の箇所を更新
 - 情報名称に**レベル**の数字が付与、「情報」から「**警報**」への変更
 - 洪水注意報・洪水警報の**廃止**
 - 気象防災速報および気象解説情報に関する**名称の変更**
 - 河川管理者等による氾濫に係る**通報制度の新設**
- ・詳細については**配布資料3のp.12～15**をご確認ください。



<検討会の様子>



<タイムラインの更新箇所>

◆タイムラインの読み合せ

- ・日野川水害タイムライン発動時のメール文やレベル移行基準、レベル毎の想定シナリオ、各機関の役割等について、タイムライン解説動画を併用して説明した。
- ・読み合せ訓練終了後、タイムラインに関して感じた課題や疑問について、意見交換を実施した。



<読み合せ訓練の様子>



<情報提供システムQRコード>

参加形式	意見内容
対面	タイムラインレベル2の行動項目「学校の休校周知」に警察・消防が位置づけられているが、必要に応じて情報収集や関係機関との情報伝達等を実施するといった役割であることを理解した。（米子警察署）
	主な発表情報について、「レベル5土砂災害特別警報」の追加や線状降水帯に関する気象防災速報の内容の追記について確認をお願いしたい。（鳥取地方気象台）
Web	資料が膨大であるため、概要・詳細版へ特化した説明や訓練がより実用的ではないか。災害対応において、リアルタイムでの確認は難しいと感じており、事後検証での活用に残る懸念がある。（鳥取県河川課）
	項目数が多く把握に時間を要したものの、熟読により自部署の役割や他部署との連携を理解できたため、今年度の出水期に向けて改めて内容を精査し、さらなる理解向上を図る。（米子市道路整備課）
	情報収集を行いながら市町村ヘリエゾンを派遣する想定であるため、関係市町村と密に連携を図っていく。（鳥取県民福祉局西部振興課）
	タイムラインレベル準備の行動項目「臨時休校の検討」へのバスの位置づけは、児童・生徒の輸送が生じる可能性を考慮した対応であると理解した（日ノ丸自動車）
	タイムラインレベル5において氾濫発生情報が発表された場合、実際に氾濫が発生しているという認識でよいのか。（米子市防災安全課） ⇒氾濫発生情報には、氾濫の「切迫状態」と「発生状態」の2つのケースがある。（事務局回答）

◆講評

- ・タイムラインレベルの発動状況をいち早く把握することが、**迅速な初動対応**に繋がる。
- ・そのため、タイムライン情報提供システムを各自のスマホに登録し、**平時からシステムを活用**して出水期の運用に備えてほしい。



鳥取大学三輪特任教授

◆今後の予定（令和8年度）

- ・タイムラインの活用方法やシステム操作に関するウェビナーを後日開催いたします。
- ・日程が決まり次第ご連絡いたしますので、ぜひご参加ください。